

● 社会活動状況 ●2022.1.1～12.31

2022.12.23

◆第 116 回全国大学獣医学関係代表者協議会（臨時）◆

開催：メール会議 参加者約 30 名

内容：獣医学教育における動物福祉を検討する委員会委員について

2022.12.19

◆野生獣衛生推進体制促進事業に係る講習会◆

開催場所：マリンパレスかごしま(鹿児島市) 参加者 28 名

講演内容：野生獣(イノシシ/シカ)と家畜の共通感染症

2022.12.16-17

◆野生獣衛生推進体制促進事業に係る現地調査◆

開催場所：山梨県畜産協会・小菅村処理場(山梨県) 参加者 10 名、12 名

活動内容：①県内における野生獣被害状況と対策について

②事業の進捗状況等について情報交換

③現地調査(小菅村加工処理場, 捕獲場所等)

2022.12.14

◆宮崎県獣医師会理事会◆

開催：ハイブリッド会議 参加者集会 14 名 web3 名

場所：宮崎観光ホテル

協議内容：・令和 4 年度決算見込みについて など

2022.12.10

◆令和 4 年度都城子馬品評会◆

開催場所：都城種雄馬管理センター(都城市) 参加者 11 名

審査：繁殖を目的とした当歳雌馬

2022.12.8

◆みやざき養豚生産者協議会 青年部研修会◆

開催場所：J A ・ A Z M 別館(宮崎市) 参加者 36 名

協議内容：1. デンマーク育種マネジメント、2. 畜産クラスターを活用した規模拡大の事例発表

2022.12.5

◆農場 HACCP 認証審査員 第 388 号◆



2022.12.3

◆豚熱セミナー◆

開催場所：RIVERLD 神田/オンライン会議 参加者 58 名

協議内容：現在国内で使用されている野生イノシシ用豚熱経口ワクチン

2022.12.2

◆家畜衛生フォーラム 2022◆

開催場所 : Meiji Seika ファルマ(京橋) 参加者 102 名

企画内容 : 豚熱の防疫 ～豚と野生イノシシ～

2022.12.2

◆日本家畜衛生学会 96 回大会◆

開催場所 : Meiji Seika ファルマ(京橋) 参加者 84 名

2022.12.1

◆第 11 回 JASV 口蹄疫終息記念セミナー◆

開催場所 : アジュール竹芝 対面・オンラインのハイブリッド開催 参加者約 100 名

講演内容 : 口蹄疫発生現場の実態と繰り返さないためには

2022.11.26

◆日本野生動物医学会シンポジウム◆

開催 : オンライン会議 参加者 58 名

講演内容 : 近隣国で発生しているアフリカ豚熱(ASF)の状況、対策と発生時の対応

2022.11.9

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催 : オンライン会議 参加者 37 名

協議内容 :

1. 変異型 IBD の弱毒化の情報
2. 水洗・消毒のスタンプ検査報告
3. 育雛農場における飲水パイプ洗浄テスト

2022.10.28

◆令和 4 年度野生獣衛生推進体制促進事業 第 2 回技術専門委員会◆

開催 : 対面・オンラインのハイブリッド開催 参加者 11 名

協議内容 : 1) 令和 4 年度事業進捗状況について

2) 技術専門委員による現地調査状況について

3) 啓発普及資料の作成について

4) 今後の事業取り組みについて

2022.10.21

◆第 101 回日本豚病研究会研究集会・2022 年度日本豚病臨床研究会・令和 4 年度日本養豚開業獣医師協会第 12 回合同集会◆

開催 : ハイブリッド会議 参加者集会 100 名 web400 名

協議内容 : PRRS と豚熱について

2022.10.12

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催 : ハイブリッド会議 参加者集会 8 名 web27 名

協議内容 :

1. プロイラーレイヤーの細菌叢調査結果
2. ネズミ対策を包括したバイオセキュリティ
3. 採卵鶏育雛のコクシジウム対策の一例

2022.9.28

◆宮崎県獣医師会理事会◆

開催 : ハイブリッド会議 参加者集会 24 名 web1 名

協議内容 : 台風被害、公益法人認定基準、CSF 防疫、FAVA 大会、マイクロチップ登録などについて

2022.9.16

◆長野県畜産試験場見学◆

場所 : 現地

内容 : 養豚アニマルウェルフェアについて: 240x240cm 分娩舎、フリーアクセスストール母豚舎

2022.9.14

◆家禽疾病講習会-宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催 : オンライン 参加者 36 名

内容 : 養鶏と獣医師の関わり

2022.9.9

◆令和4年度宮崎県指定種豚場協会研修会◆

開催：宮崎県庁防災庁舎（宮崎市）参加者18名

内容：登記・登録事業の必要性

2022.9.3

◆日本豚病臨床研究会北海道・東北連絡会◆

開催：仙都会館（宮城県仙台市）/会議システム「Zoom」参加者12名

内容：豚病対策にかかる情報交換

2022.9.2

◆日本豚病臨床研究会九州連絡会◆

開催：NOSAI 宮崎本所（宮崎市）/会議システム「Zoom」参加者10名

内容：豚病対策にかかる情報交換

2022.8.24

◆令和4年度快適性に配慮した豚飼養管理推進普及事業第1回検討委員会◆

開催：ハイブリッド会議 参加者12名

協議内容：事業進捗状況、情報収集、報告書作成について

2022.8.10

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催：オンライン 参加者54名

協議内容：

1. IBD variant 株に対する現行ワクチンの有効性について
2. IBD 汚染状況とワクチン変更後の動向
3. 枯草菌製品アルテリオンのご紹介
4. プロイラー農場での育成後半からの斃死増加への相談に対する対応とその結果

2022.8.5

◆薬事・食品衛生審議会 動物用医薬品等部会・調査会◆

開催：会場参加者13名 web参加者11名

協議内容：動物用外国製造医薬品の製造販売承認の可否等について

2022.7.29

◆JASV 第20回活動報告・記念講演会◆

開催：ハイブリッド 対面参加者約60名

場所：ホテルアシュール竹芝(東京)

内容：

1. JASV 第20回活動報告・活動予定
2. ロシア・ウクライナ戦争と世界の穀物情勢

2022.7.26

◆令和4年度地域養豚生産衛生向上対策支援事業委員会 第1回事業推進委員会・対策検討会◆

開催：オンライン開催 参加者19名

協議内容：1. 令和4年度事業について

2. 各県畜産協会実施計画について

3. 事業自己評価(案)について

2022.7.20

◆動物衛生学 第二版 編集委員会◆

開催：オンライン 参加者6名

協議内容：項目と執筆者について

2022.6.30-7.1

◆第77回九州・山口病性鑑定協議会◆

開催：サンプラザ天文館 参加者62名

協議内容：家畜疾病発生状況について

2022.6.27

◆動物衛生学 第二版 編集委員会◆



開催：オンライン 参加者 7 名  
協議内容：項目と執筆者について

2022.6.24

◆日本の畜産の将来を考える会◆

開催：web 会議 参加者 7 名

協議内容：アニマルウェルフェアへの対応と代替肉の動向について

2022.6.20

◆動物衛生学 第二版 編集委員会◆

開催：web 会議 参加者 3 名

協議内容：項目と執筆者について

2022.6.15

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催：オンライン 参加者 45 名

協議内容：

1. プロイラー鶏舎内配管洗浄について
2. サルモネラのモニタリング
3. 鶏の呼吸器対策資材のご紹介
4. 日生研 IB 生ワクチンと野外事例の紹介

2022.6.13

◆田原市バイオガスプラントの概要と防疫対策専門家会議◆

開催：web 会議 参加者 14 名

協議内容：畜産バイオガス事業モデル案、畜産ふん尿処理とバイオガス事業の課題と防疫対策について

2022.6.8

◆バイオセキュリティオンラインワークショップ◆

開催：web 会議 参加者 29 名

協議内容：肉用牛、乳用牛、豚、採卵鶏、肉用鶏の農場バイオセキュリティについて

2022.6.2

◆宮崎県獣医師会理事会◆

開催：ハイブリッド会議 参加者集会 25 名 web3 名

協議内容：・第 50 回宮崎県獣医師会総会(6.28)について

- ・宮崎県獣医師会功労者表彰について
- ・第 71 回九州地区学会(大分市, 9.4)について
- ・FAVA 大会(福岡市, 11.11-13)について(会員の参加登録費は県獣が負担)
- ・豚熱の国内発生状況と宮崎県での事前対策について
- ・改正動物愛護管理法に係る犬猫のマイクロチップ装着等義務化について

2022.5.28

◆2022 年度日本家畜衛生学会第 2 回理事会◆

開催：ウェブ会議 (Google meet oogle meetoogole meet ) 参加者 29 名

内容：1) 2022 年度総会の書面開催について

2) 第 95 回研究発表会について

3) 総会上程議案について

4) 日本家畜衛生学会創立 50 周年式典について

2022.5.20

◆第 100 回日本豚病研究会研究集会&幹事打合わせ会◆

開催：ハイブリッド開催 (文部科学省研究交流センター/ビデオ会議システム) 対面参加者 28 名、web 参加者 112 名

内容：薬剤耐性(AMR)の対策と現状

2022.5.13-14

◆日本豚病臨床研究会第 82 回定例会◆

開催：ハイブリッド開催 (ビジョンセンター浜松町/ビデオ会議システム「Zoom」) 参加者約 50 名

内容：個体診療を中心とした豚の臨床、PRRS アンケート報告、CSF ウイルス存在下における感染防止、安楽殺アンケート報告

2022.5.13

◆バイオセキュリティオンラインワークショップ◆

開催：web 会議 参加者約 30 名

協議内容：肉用牛、乳用牛、豚、採卵鶏、肉用鶏の農場バイオセキュリティについて

2022.5.11

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催：オンライン 参加者 21 名

協議内容：

- 1.米国・EU における抗コクシジウム剤市場概況ならびに合成抗コクシジウム剤「アムコックス」の有効性
- 2.養鶏の腸管における不溶性繊維の働き
- 3.バキシテック(r)HVT+IBD 接種鶏の検査について
- 4.育雛場における水質改善の 1 例

2022.4.15

◆バイオセキュリティオンラインワークショップ◆

開催：web 会議 参加者約 30 名

協議内容：肉用牛、乳用牛、豚、採卵鶏、肉用鶏の農場バイオセキュリティについて

2022.4.14

◆令和 4 年度安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業～短期課題解決型研究審査委員会◆

開催：会場参加者 5 名 web 参加者 4 名

審査内容：病原体の侵入・拡散防止のための効果的な小型野生動物・害虫対策の検討について

2022.4.13

◆薬事・食品衛生審議会 動物用医薬品等部会・調査会◆

開催：会場参加者 13 名 web 参加者 12 名

協議内容：2021 年度事業報告・収支決算報告及び 2022 年度事業計画・予算案について

1. 動物用医薬品の製造販売承認の可否等について
2. 動物用外国製造医薬品の製造販売承認の可否等について
3. 動物用生物学的製剤基準の一部改正について

2022.4.13

◆宮崎県養鶏獣医師協議会～2022 年度総会と研究会～◆

開催：web 会議 参加者 46 名

協議内容：2021 年度事業報告・収支決算報告及び 2022 年度事業計画・予算案について

1. 鹿児島大学獣医学部 5 年生の産業動物総合臨床実習（養鶏実習）と学生の卒業研究等について
2. タンニンとサポニンがコクシジウムに与える影響
3. 繊維分解酵素による飼料コスト削減-アビザイム 1502（複合酵素製剤）を使った対策

2022.4.10

◆2022 年度日本家畜衛生学会第 1 回理事会◆

開催：オンライン開催 参加者 32 名

内容：1) 2022 年度の主な行事と日程について

- 2) 通常総会および第 95 回大会の開催について
- 3) 第 96 回大会および家畜衛生フォーラム 2022 について
- 4) 編集委員会報告
- 5) 事務局報告
- 6) 名誉会員の規定について
- 7) 常設委員会・委員の確認について

2022.4.8

◆日本農業新聞(14 ページ)◆

内容：迫る豚熱 九州緊迫



中国地方で8月、野生イノシシの豚熱感染が相次いで確認されたことを受け、日本最大級の養豚産地を抱える九州各県の緊張が高まっている。九州はこれまで野生イノシシ対策の遅れが指摘されていた。イノシシの感染有無を調べるサーベイランス（警戒）調査の徹底など対策強化が不可欠だ。（三宅 康夫）

# 九州緊迫

# 熱豚迫る

アグリフォーカス

■家畜防疫に詳しい宮崎大学農学部・木古雄雄教授の話  
中国地方の野生イノシシの豚熱感染経路は、イノシシ以外の人が、サーベイランスを感染地域から運ぶ「ジャンピング」伝播（でんぱ）の未確認の豚熱感染イノシシによる感染拡大一が考えられる。20年に感染地域と離れた福岡県で豚熱が発生したことに留意し、県境だけではなく、ウイルスはあるものと考え



野生イノシシによる豚熱感染が懸念されている。記事に直接関係ありません。

豚熱陽性イノシシ確認地点と九州地方の豚飼養状況



## あらゆる経路想定を

対策を徹底する必要がある。養豚はあらゆる感染源を想定すべきだ。汚染雨水などから侵入する恐れもある。ハード面の強化の他、農場付近のイノシシの数を減らしたり、餌になる果樹などを取り除いたりすることも重要だ。畜舎保健衛生所の業務が重要（ひびく）しないよう、関係機関と連携したプラットフォームをつくり、検査数を増やすことが望ましい。

九州7県の豚の飼養頭数は約289万頭（2021年2月時点）で国内の31%を占める。県別でも1位の鹿児島県（約123万頭）、2位の宮崎県（約80万頭）など養豚産地を抱える。

## 野生イノシシ感染 山口・広島で確認

九州は豚の飼養頭数が多い一方、感染地域と離れていた。サーベイランス検査の実施数は、同省が求める1都府県当たり年間2,000頭の最低基準を、宮崎以外の6県が満たしていない。こうした状況を踏まえ、同省は8月、各県のサーベイランス検査の拡充などを求める。野生イノシシ豚熱対策方針を策定。特に中国地方に近い福岡、大分県には、経口摂取ワクチン配布を促す。関係機関で協議会を立ち上げるなどの準備を求めている。

検査数が伸び悩む要因の一つが、検査を担う畜舎保健衛生所の負担だ。一般畜舎の疾病診断自体も多く、新たに豚熱の検査をする体制整備が必要だ。ある県の担当者は「負担が大き、現状の体制では困難」と明かす。同省は、検査をPCR検査できるリアルタイムPCRを推進する。また、民間をのめた外部への検査委託も推進している。

これまで最も西の発生だった兵庫県から、県を越えて山口県岩国市で確認されたのが17日、22日には隣接する広島県大竹市で見つかった。未確認の陽性イノシシによる拡大や、人とイノシシ以外が運んだ可能性も浮上する。「非感染産地を飛び越えた県での発生で、これまでと状況が変わった。宮崎県家畜防疫対策の担当者もこう話す。2010年の口蹄疫（こうていえき）で苦い経験をした宮崎県は豚熱対策に注力してきた。19年度から県友会と連携し、年間1,000頭を目安に捕獲したイノシシの抗体検査を実施。21年度からは一部でPCR検査との併用も始め、サーベイランス検査数を年間3,777頭まで伸ばし、九州で唯一、農水省が求める基準を達成した。さらに、県内

の大学と連携して検査体制を強化している。中国地方での確認を受け、県はホームベジなどを活用し、畜舎農家へ防疫対策の徹底を強く呼びかけている。15万頭を飼養し、山口県と海を挟んで向かい合う大分県は、県民友会と初めの支部に對し、捕獲した野生イノシシの抗体検査への協力呼び掛けを行っている。並行して、飼養豚へのワクチン接種を促した畜産農家の情報収集や、関係方面からのフェリー入港が多い港に車両消毒マットを設置、水際での侵入防止策も講じる。

## 検査強化に注力 口蹄疫経験の宮崎県

## 体制整備急ぐ 6県で基準未達

2022.3.28

### ◆JASV 養豚従事者基礎研修会企画会◆

開催：オンライン開催 参加者 5名  
企画内容：2022年度企画について

2022.3.17

### ◆宮崎産業動物教育コンソーシアム委員会（第2回）◆

開催：オンライン会議 参加者 15名  
内容：1. 卒後教育モデルカリキュラム及び達成度評価基準（2021年度版）について  
2. 受講証明書授与者の承認について  
3. 成果報告書の承認について

2022.3.17

### ◆令和3年度卒後教育モデルカリキュラム活動報告会◆

開催：オンライン会議 参加者 15名  
内容：i)衛生ワーキンググループ報告  
ii)臨床ワーキンググループ報告  
iii)畜産リーダーワーキンググループ報告

2022.3.16

### ◆宮崎県獣医師会理事会◆

開催：ハイブリッド会議 参加者集会 22名 web4名  
協議内容：令和4年度事業計画(案)などについて

2022.3.14

### ◆令和3年度快適性に配慮した豚飼養管理推進普及事業第2回検討委員会◆

開催：ハイブリッド会議 参加者 12名  
協議内容：事業進捗状況、情報収集、報告書作成について

2022.3.11

### ◆野生イノシシにおけるアフリカ豚熱・豚熱対策シンポジウム◆

開催：web 会議 参加者約 100 名

内容：

1. アフリカ豚熱・豚熱の現状と課題について
2. イノシシの生態と行動の変化
3. 豚熱対策等の効率化を目指したイノシシの誘引と経口ワクチンの実証

2022.3.11

◆JASV 年次大会 2022◆

開催：web 会議 参加者 100 名

内容：

1. 豚熱の最新情報
2. 群馬県の契約農場における豚熱ワクチン接種による免疫付与状況の分析
3. 豚熱ワクチンの免疫と接種日齢を考える

2022.3.9

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催：web 会議 参加者 41 名

協議内容：養鶏管理について

1. 宮崎大学獣医学科 4 年生に対する施設見学及び講義について
2. 鶏の大腸菌症のワクチンによるコントロール（事例報告）
3. フリーディスカッション

2022.3.5

◆第 140 回宮崎大学農学部獣医学科集談会◆

開催：オンライン 参加者 32 名

内容：1. 学科教員研究紹介

2. 一般演題(症例紹介、研究発表)

2022.2.27

◆第 5 回 JASV 豚熱対策検討委員会◆

開催：web 会議 参加者 15 名

協議内容：1. 野生イノシシ対策について

2. 飼養豚への CSF ワクチン接種対策について

2022.2.24

◆令和 3 年度地域豚疾病低減対策強化事業委員会◆

開催：オンライン開催 参加者 19 名

協議内容：1. 令和 3 年度事業について

2. 令和 2～3 年度各県地域豚疾病低減対策強化事業実施状況

3. 事業自己評価結果等報告書(案)

2022.2.16

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催：web 会議 参加者 64 名

協議内容：鶏疾病事例について

1. IB 生「科飼研」JPⅢ について
2. 鶏用ワクチンの保管温度と管理
3. コクシジウム・クロストリジウムについて
4. 石灰散布機を用いた家畜伝染病対策

2022.2.14

◆令和 3 年度野生獣衛生推進体制促進事業 第 2 回野生獣衛生推進体制促進委員会並びに第 3 回技術専門委員会◆

開催：オンライン開催 参加者 13 名

協議内容：1) 令和 3 年度事業進捗状況について

2) 技術専門委員等による現地調査状況について

3) 令和 4 年度啓発普及資料の作成について

4) 事業実施上の問題点・要望について



2022.2.11

◆第9回 JASV 養豚従事者基礎研修会 4 日目◆

開催：オンライン開催 参加者 58 アカウント 119 名

企画内容：離乳・肥育期の管理、薬の使い方（消毒剤、抗菌剤、ワクチン）、農場管理者心得～豚熱を通じて考えること

2022.2.9

◆第9回 JASV 養豚従事者基礎研修会 3 日目◆

開催：オンライン開催 参加者 52 アカウント 114 名

企画内容：栄養と飼料、体の仕組み、分娩舎の管理

2022.2.8

◆四者会談◆

開催場所：宮崎大学農学部 参加者 9 名(宮崎県、宮崎 NOSAI、宮崎県獣医師会、宮崎大学農学部)

協議内容：産業動物獣医師確保について

2022.2.4

◆第9回 JASV 養豚従事者基礎研修会 2 日目◆

開催：オンライン開催 参加者 53 アカウント 117 名

企画内容：繁殖生理の基礎、交配～妊娠期の管理

2022.2.3

◆MRT ニュース◆

内容：今季の鳥インフルエンザの状況について



2022.2.3

◆令和3年度野生獣衛生推進体制促進事業研修会◆

開催：奈良県橿原市大和平野土地改良区センター 参加者 39 名

講演内容：家畜と野生動物の共通感染症(特に豚熱とアフリカ豚熱について)



2022.2.2

◆第9回 JASV 養豚従事者基礎研修会 1 日目◆

開催：オンライン開催 参加者 56 アカウント 119 名

企画内容：養豚という仕事、農場バイオセキュリティ

2022.1.31

◆令和3年度RS委託事業「国内侵入と野生動物」第2回研究推進会議◆



開催：web 会議 参加者 41 名

協議内容：口蹄疫、アフリカ豚熱、高病原性鳥インフルエンザ、アルボウイルス、野生動物など関連越境性  
伝染病防御について

2022.1.17

◆日本獣医師会令和 3 年度年次大会学会賞選考会◆

開催：web 会議 参加者 6 名

審査内容：産業動物部門学会賞選考

2022.1.13

◆バイオセキュリティオンラインワークショップ◆

開催：web 会議 参加者約 30 名

協議内容：肉用牛、乳用牛、豚、採卵鶏、肉用鶏の農場バイオセキュリティについて

2022.1.12

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催：web 会議 参加者 50 名

協議内容：鶏疾病事例について

1. 幼雛での腎炎型 IB と卵管囊腫発生事例
2. ブロイラー種鶏群で繰り返し発生した大腸菌症の事例
3. 新製品アビヘルスD+について
4. Health Tracking System を用いた生産成績向上に向けた取り組み

2022.1.9

◆第4回 JASV 豚熱対策検討委員会◆

開催：web 会議 参加者 11 名

協議内容：野生イノシシ対策について

1. HOGGONE および HogStop に関する情報共有
2. 減数対策、イノシシへの経口ワクチン接種、飼養衛生管理の重点事項の整理